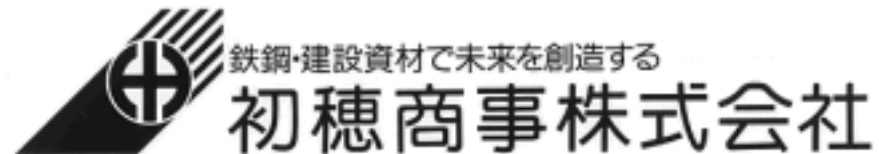


平成16年12月期 決算説明資料

平成17年2月



(J A S D A Q ・ 7 4 2 5)

平成17年2月現在

商号 初穂商事株式会社

本社 名古屋市中区錦二丁目14番21号

代表者 代表取締役社長 斎藤 悟

設立 創業 昭和21年2月1日
設立 昭和33年12月18日

資本金 885百万円

売上高 15,764百万円

従業員 184人

昭和33年12月	鉄鋼二次製品、合成樹脂及び非鉄金属製品の販売を目的として資本金5,000千円で名古屋市千種区に初穂商事株式会社を設立
昭和59年1月	名港流通センターを設立、軽量鋼製下地材の販売を開始（現名港営業所）
昭和61年9月	静岡市に静岡営業所を設置
昭和63年4月	富山県射水郡小杉町に北陸営業所を設置
平成2年8月	愛知県春日井市に春日井流通センターを建設し営業を開始（現春日井営業所）
平成2年9月	愛媛県松山市に四国営業所を設置
平成3年10月	長野市に長野営業所を設置
平成4年8月	愛知県豊川市に豊橋営業所を設置
平成4年9月	広島県福山市に福山営業所を設置
平成6年7月	新潟県長岡市に長岡出張所を設置（現長岡営業所）
平成7年1月	日本証券業協会に株式店頭登録
平成7年8月	埼玉県川口市に埼玉営業所を設置
平成7年10月	福岡県大野城市に福岡営業所を設置
平成9年11月	福井県福井市に福井営業所を設置
平成9年12月	岡山県岡山市に岡山営業所を設置
平成16年9月	神奈川県横浜市に横浜営業所を設置

当企業集団等は、当社及び子会社3社、関連会社1社により構成されており、事業は軽量鋼製下地材、石膏ボード、建築金物等の鉄鋼二次製品の販売、リフォーム業、線材加工、外壁材の販売及び取付け施工、運送業を行っています。

当社（鉄鋼二次製品の販売）

軽量鋼製下地材・建築金物・エクステリア・鉄線・溶接金網・ALC金具副資材・カラー鉄板・窯業建材金具副資材

株式会社タンポポホームサービス（建設業）

新築・増改築・リフォーム

大橋鋼業株式会社（線材加工）

線材製品の加工

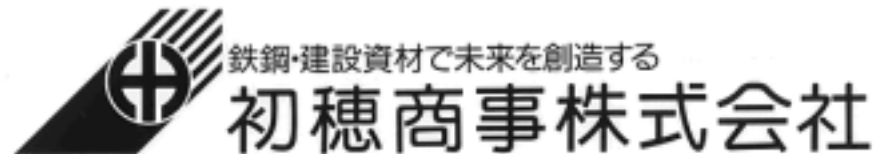
株式会社オカダコーポレーション（外壁材の販売及び取付け施工）

ALC取付け施工

三宝運輸株式会社（運送業）

当社商品の配送

平成16年12月期 決算概要



公共工事が縮小を続けたものの、民間設備投資は企業収益の改善を背景に電機・機械・自動車等の製造業に加え、非製造業においても投資意欲が回復し、工場・倉庫・大型ショッピングセンターなどの建設が活発化いたしました。又、住宅ローン減税延長の影響で住宅着工も底堅い動きを見せるなど、需要環境は堅調に推移いたしました。しかしながら、中国を中心とする世界的な鉄鋼需要の拡大に加え、秋口以降の台風や地震による災害復旧向け需要を背景に、建設用の鋼材受給が逼迫し価格の上昇を招きました。異常とも言える供給逼迫状態が続く中、企業間競争も一段と激化する厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社は9月に横浜営業所を開設し、積極的な営業展開を図るとともに、11月には物流の効率化と流通在庫の削減を目的とし、千種営業所と名港営業所金物課並びにエクステリア事業部を統合し、新たに熱田営業所として営業を開始いたしました。又、環境の変化に対処するため、契約価格の見直しや在庫の積み増し、販売費及び一般管理費の削減などあらゆる手段を積極的に講じ、利益確保に努めてまいりました。

(単位：百万円)

	16年12月期	15年12月期	前期比	備考
売上高	15,764	13,496	16.8%	世界的鉄鋼需要の拡大による価格の上昇が主因
売上原価	12,993	11,044	17.6%	
販売費及び一般管理費	2,332	2,238	4.2%	
営業利益	438	213	105.5%	売上高増加に伴う売上総利益の増加により大幅増
営業外収益	54	51	6.1%	
営業外費用	11	11	---	
経常利益	482	253	90.3%	
特別利益	---	1	---	
特別損失	42	40	5.8%	
当期純利益	221	106	108.4%	営業利益増加に伴い大幅増

貸借対照表

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	16年12月期	15年12月期	増減	備考
流動資産	8,071	6,907	1,164	売上高の増加に伴い受取手形が439百万円増加、売掛金が340百万円増加
固定資産	3,864	3,788	75	
資産合計	11,936	10,695	1,240	

流動負債	6,780	5,521	1,258	仕入高の増加により、支払手形が717百万円増加、買掛金が309百万円増加
固定負債	381	582	-201	
負債合計	7,162	6,104	1,057	

資本金	885	885	0	
資本剰余金	1,316	1,316	0	
利益剰余金	2,562	2,389	172	当期純利益の増加による
資本合計	4,774	4,591	182	

キャッシュ・フロー計算書

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	16年12月期	15年12月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	422	443	21	税引前当期利益 439百万円 減価償却費 79百万円 法人税等支払額 167百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	131	99	32	有形固定資産の取得 69百万円 無形固定資産の取得 44百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	115	77	38	短期借入金の純減額 40百万円 長期借入金の返済 60百万円
現金及び現金同等物の 増加額	174	266	92	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,253	986	266	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,428	1,253	174	

セグメント別売上高

初穂商事株式会社

(単位：百万円)

セグメント	16年12月期		15年12月期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
軽量鋼製下地材・不燃材	10,439	66.2%	8,992	66.6%	1,446	16.1%
建築金物・エクステリア	2,289	14.5%	1,957	14.5%	332	17.0%
鉄線・溶接金物	1,027	6.5%	797	5.9%	229	28.8%
A L C 金具副資材	881	5.6%	648	4.8%	233	35.9%
その他	1,126	7.2%	1,099	8.2%	26	2.4%
合計	15,764	100.0%	13,496	100.0%	2,268	16.8%

軽量鋼製下地材・不燃材

リニューアル工事向け需要やマンション向け需要が上向いたことに加えて、価格上昇により増加いたしました。

建築金物・エクステリア

住宅着工が景気回復基調の継続、住宅ローン減税の延長から底堅く推移したことにより増加いたしました。

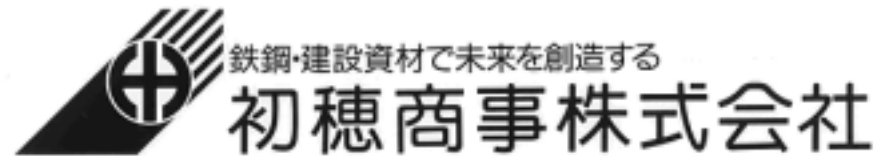
鉄線・溶接金物

中部国際空港や愛知万博特需に加え、価格上昇などにより増加いたしました。

A L C 金具副資材

景気回復の影響を受けて、商業施設建設などが伸びたことにより増加いたしました。

平成17年12月期 業績予想



(単位：百万円)	17年12月期予想	16年12月期実績	増減
売上高	16,140	15,764	2.4%
経常利益	480	482	-0.4%
当期純利益	230	221	4.1%
EPS (円)	50.62	48.68	4.0%
ROE	4.8%	4.7%	0.1

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

売上高 鉄鋼受給は前期に引き続き逼迫し、価格上昇が予想されます。

経常利益 利益面につきましては、価格上昇分の販売価格への転嫁が課題となります。業務の効率化を図り、一層のコスト削減に取り組み、利益確保に努力してまいります。

経営方針

当社は、創業以来、常にお客様の立場から、鉄鋼を中心とする建設資材の専門商社としての理想的な企業を追求してまいりました。

ユーザーニーズにきめ細かく対応する小ロット・ジャスト・イン・タイムの配送体制を武器に、地域に密着した供給サービス体制を強化し、豊富な品揃えと迅速・確実なデリバリー体制を更に強固なものに推し進めてまいります。

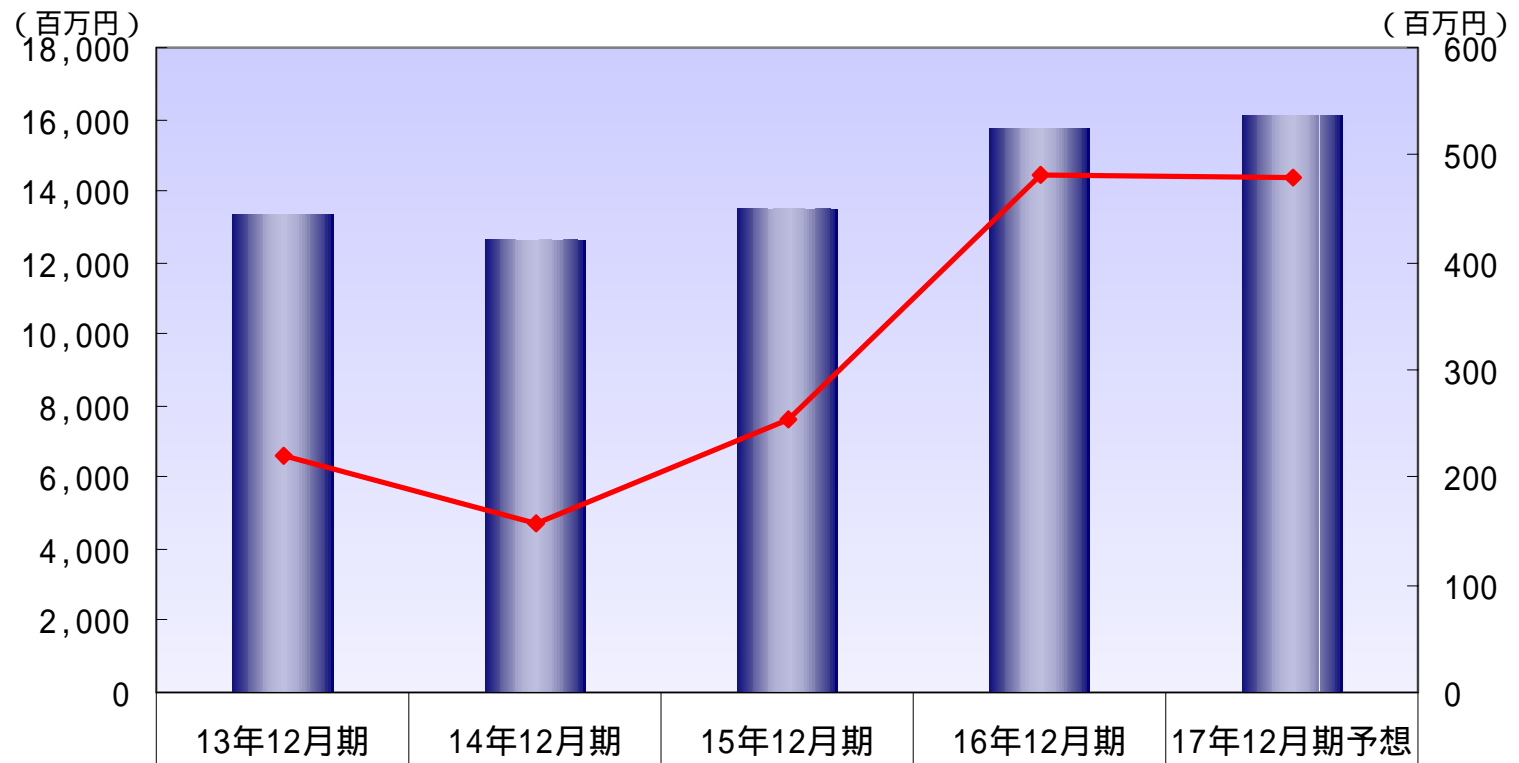
価値観が多様化している現代社会において、人間にとって真の豊さとは何かを問われている中で、建設資材を通し「快適な暮らしへの希求」を企業理念に、社会への貢献を着実に果たしていきたいと考えております。

今期の取り組み

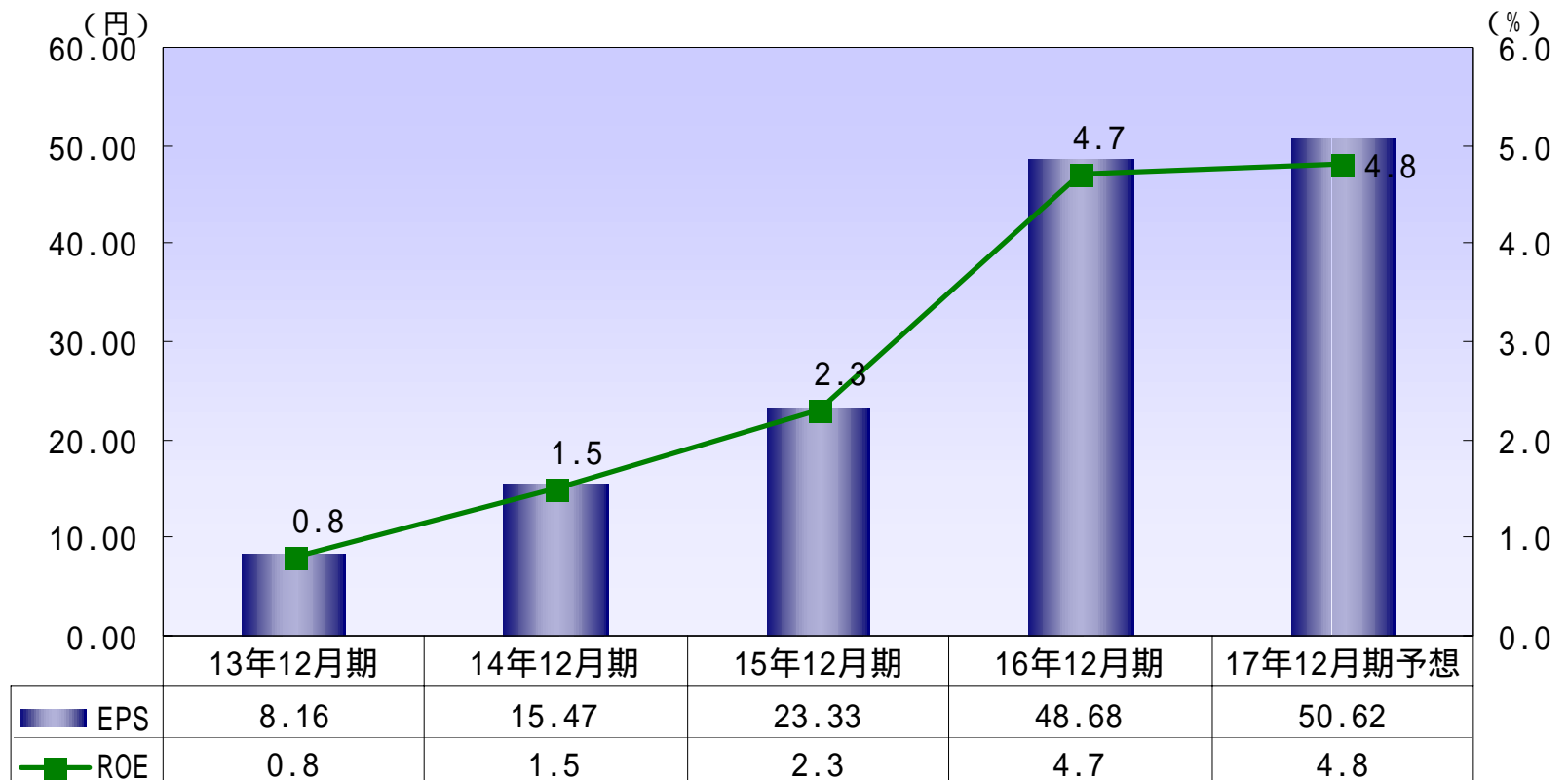
今後は、営業所及びストックヤードの新設、将来成長が見込まれるリフォーム事業や工事関連事業・住宅分野への販売を強化し、市場拡大を目指してまいります。また、現在コンピュータシステムの再構築を進めており、業務の生産性向上、事務コストの低減やお客様ニーズに応えるための情報活用を図り、市場競争力を強化してまいります。

売上高・経常利益の推移

初穂商事株式会社



■ 売上高 (左)	13,337	12,639	13,496	15,764	16,140
◆ 経常利益 (右)	221	158	253	482	480



EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率



鉄鋼・建設資材で未来を創造する

初穂商事株式会社

管理本部

TEL : 052-222-1066

E-mail : a.takano@hatsuho.co.jp